

電通 社友会 会報

175号
令和6年
2024夏



今号の表紙

貝合わせ「源氏物語五十四帖」

得川和臣（北海道・S21）

退職後、日本画を趣味で始めたが6年程前から貝合わせを手初め。貝覆いとも言い一種の神経衰弱遊戯だから一般的に二枚の貝には同様の絵柄が多いが物語の場面重視で左右で一場面を描いた。当初は花や飾物など画題にしたが、源氏物語五十四帖で作成してみようと取り組む。蛤の二枚貝は出貝と地貝、対となる貝殻としか絶対組み合わせられない。

源氏物語、和合は果たしてどうであったか？ 集中心の欠如や閑暇に任せたりして五十四帖延べ4年程かかってしまった。終わって見ると構図が気になったりして何年か後、再作してみたいが難しいかも。日向産などの大きく綺麗な蛤は入手難、天然岩絵具も含め、日本の美しい材料が満んでゆくのは寂しい。

右上より「句宮」「常夏」「鯉舟」

左上より「強法」「桐壺」「絵合」

- 02 礎 - 虹を架けた者たち (百瀬伸夫 前編)
- 04 東西南北 リレーエッセイ
- 06 私のトピック
- 08 社友掲示板・新社長紹介・事務局より
- 10 今のdentsu(第2回) 電通だより
- 11 一点鬼簿
- 12 電通のある町・あった町
- 12 編集後記